

花橋

センスは〇〇からはじまる

発行日

令和6年12月15日

第10号

発行・編集

三崎高校総務課

新規採用教員 山口優花

『山口さんは美術のセンスがあるからいいよね』

これは、私が物心ついた時から今日まで、周りに言われてきた言葉である。私自身も中学生の頃までは嬉しく思っていたし、周りも悪気はなかったはずだ。しかし、高校に入学し、本格的に美術系進学を目指すようになった時、この言葉に漠然とした嫌悪感を抱くようになった。放課後も帰宅してから、デッサン力を向上させるために、毎日、毎日、鉛筆を握り、モチーフと向き合っていた受験期に、美術の授業で恩師から「センスは何から生まれるのか？」という質問が投げかけられた。受講生は口々に、生まれ持った才能、感覚などと答える。恩師はそれを否定も肯定もせずを受け止めていたが、提示された答えは「知識」であった。

実際、くまモンのキャラクターデザインを手がけた水野学さんも「センスは知識からはじまる」という題名の書籍を出版している。（※センスは美術に限定されるものではない）

それを知ってもなお、受験期の私は全く納得していなかった。当時は、この言葉がどういう意味かを考えることも放棄していたと思う。

ところが、この言葉は今までになくらしいの熱量と時間をかけて美術と本気で向き合うことにより理解することができた。美術を極める上で必要な知識を身に付けることで、視野が広くなり、今まで気付かなかったことに気付き、描き方をどう工夫すべきか考え、それを形にできるように。つまり、センスとは知識で身に付けられるスキルなのである。これらを素直に受け止められた時、私は、受験に落ちないためのデッサン力ではなく、身に付いて落ちることのないデッサン力を得られていた。

また、この話をする時に恩師は、相手が影で積み上げてきた努力など、目に見えない部分を想像して行動できる人になってほしい、と期待を込めていたはずだ。そんな想いを胸に、恩師と出会って十年目の今年の春、私は同じ教育現場で働く高校美術の教員となった。

最後に、センスがあるからいいよね、と声をかけてきた人たちを批判しているわけではない。私自身も完璧な人間ではないし、無意識のうちに相手に失礼なことを言っていたかもしれないと振り返ることがある。三崎高校の心優しい皆ならきつと大丈夫だと信じているが、これからも目に見えないものこそ大切に、自ら考えて行動できる人であってほしいと願っている。

クラスマッチ

12月10日（火）に2学期のクラスマッチが開催されました。晴天にも恵まれ、無事全ての競技を行うことができました。午前と午後に分かれてサッカーとバスケットボールを行い、どのクラスも優勝を目指して懸命にプレーしていました。競技会場は歓声に包まれ、各クラスの個性が発揮された連携プレーや応援が目立ちました。最後には優勝チームと先生チームのエキシビジョンマッチも行われ、大変盛り上がりしました。

＜クラスマッチの結果＞

男子バスケットボールの部優勝	2 1 R
女子バスケットボールの部優勝	2 1 R
男子サッカーの部優勝	3 1 R
女子サッカーの部優勝	3 2 R
チームワーク賞	3 1 R
MVP	31R 清水光 11R 横山絢華



